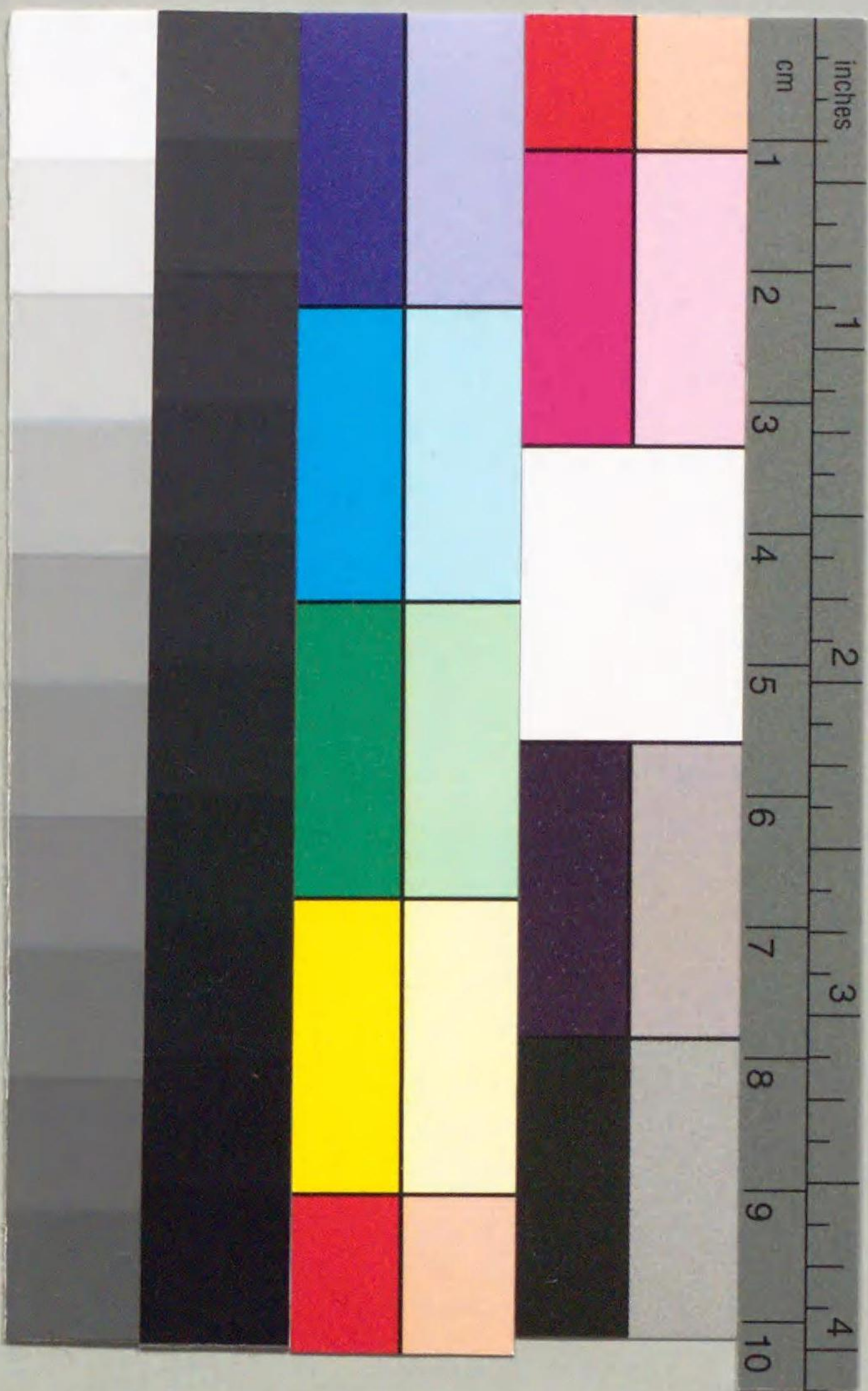


世

洋盤

初編



江湖機関西洋鑑初編下

横湾

岡 丈紀著述

神奈垣魯文校合

時間後にて停車所の教員

あるは、東京へか出り子々ア門傍ナル今日ハ廿一日で
大階さぬあり日曜日ありて殊の外込合生居私もどり
八時の出車よのりまゝ乗るとぞんト今船去方の
人足や胡波の出船が橋本川へまわらぬらち

國會血國
12.3.-3
圖書館藏書



99Wc8288

うけききしう一がめう一送のりひ七時ハせく仕立
 せしうらう侍身よあると一侍身由返居由人新
 関紙の出賣所へ往く二表み屋をづん心横濱物
 賣を買く見るとりうるのいち平海の船御船附と米
 お場をうり心お用の文向をに角を字が物よりある
 へ南条さんの初めが日本船紙をいやくを紙のり
 さつをり解るませんううあまは後なるさんとのり
 東京へ去るよおと紙ランプのあやの上色させあて
 烟草どもあうへ紙紙紙と煙のり紙さざつら
 こらると生機ありのサけんまうのそへ心烟草入後志ま
 来まうさうまうさ参書が二本と西洋附本が一とと
 教紙それハうらうのガヤぐれ賣よあると来こと
 ころが富士と大山ありの同者ゆりガ横見物紙仕
 舞と船出ととてく上妙産のおおひでイヤおひで
 来さうくさんと参居のまう掃う近江店の掃揚
 のゆうをみるひのりう込合とまうううああの混雜よ

けの智のあゝ懐中ものぐも奪はると大痛ゆど
 とあふううゆ久目みして後写うよあると南へこれ
 ほうき切きサ又一冊名法のごうう便所へ往くう水場
 へ往く水張のんごうう水二秒をうり法まうご
 まごれうまゝの階をどぬぐのうませうイヤもう
 互さぬよあゝの蕙氣車が出来まううう事務役利
 うあありまうごが往張のう分も車中うのうあ
 とうのまゆこれよよればのうるとやうで新機う

やううう馬車や人カ車よとり巻きるとツイの
 せグつうう馬車まゝのゆきうぬが人の二丁場
 ううわのうむゆあうまうう中々のりのうサ子
 あり一週法ゆあうまううは男もゆんごうあゝ
 十州よ東系入まのうう島あてちうのう用を張う
 うまうう系指へまう練北石の普請が大分立派よ
 事うううううううううううううううううう
 のかけ智張渡うううううううううううううう

ついで石町の曲り角で沙茶人ゆり車成をぎら付

く雷つまで驚くまのつゝ奴者人集落一まて馬

原の如しのく人まると丁度十二州あてて堂舎よる

つたサ儲その用といふのグ極中をる一件でかえらう

しひ居どがこらう一の女房の娘が昨年を京う

解散一よあつて宿人候されまらうと京と横濱の

と由人ツイ不自由ぐちでいふよや獲取のりさせん

七その修よあつて指さそらうが今度人別のもふ付

く者しひ此布者ぐ出まらうこの町用掛う度この怪

従父地揚のさふぎを大お世の幕中あつふ出うけ

場今よあつて先馬の刺人へ為付まらうこのサま

う刺人回らで者京人集のつゝ元主人人候判

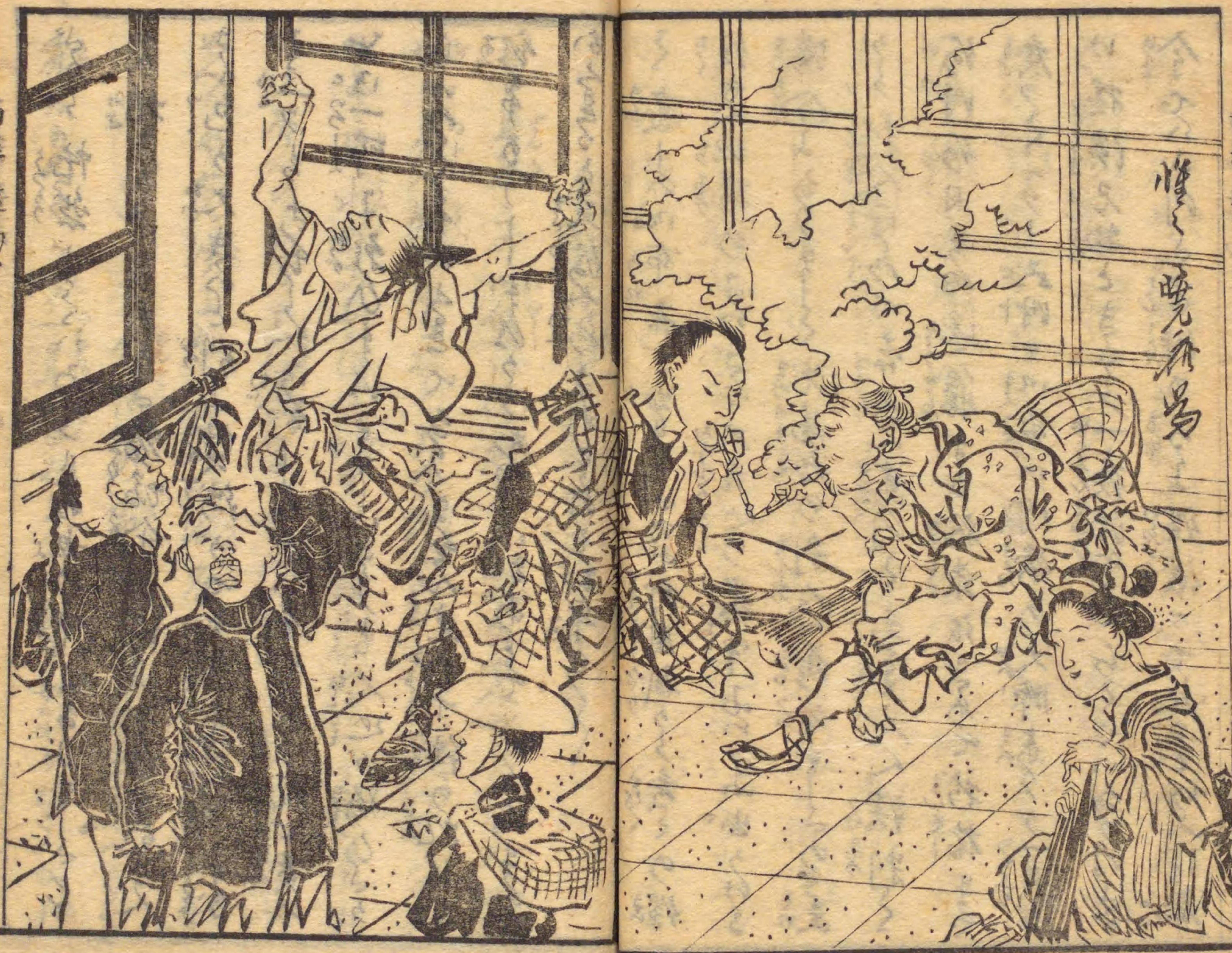
何州何日まて送籍する約束張まあて新橋を

度つとヤツト又付サ以前ハ門橋の文脚集うが一日グ

け横濱足物ときまらう一夜泊を毛らうていあつて

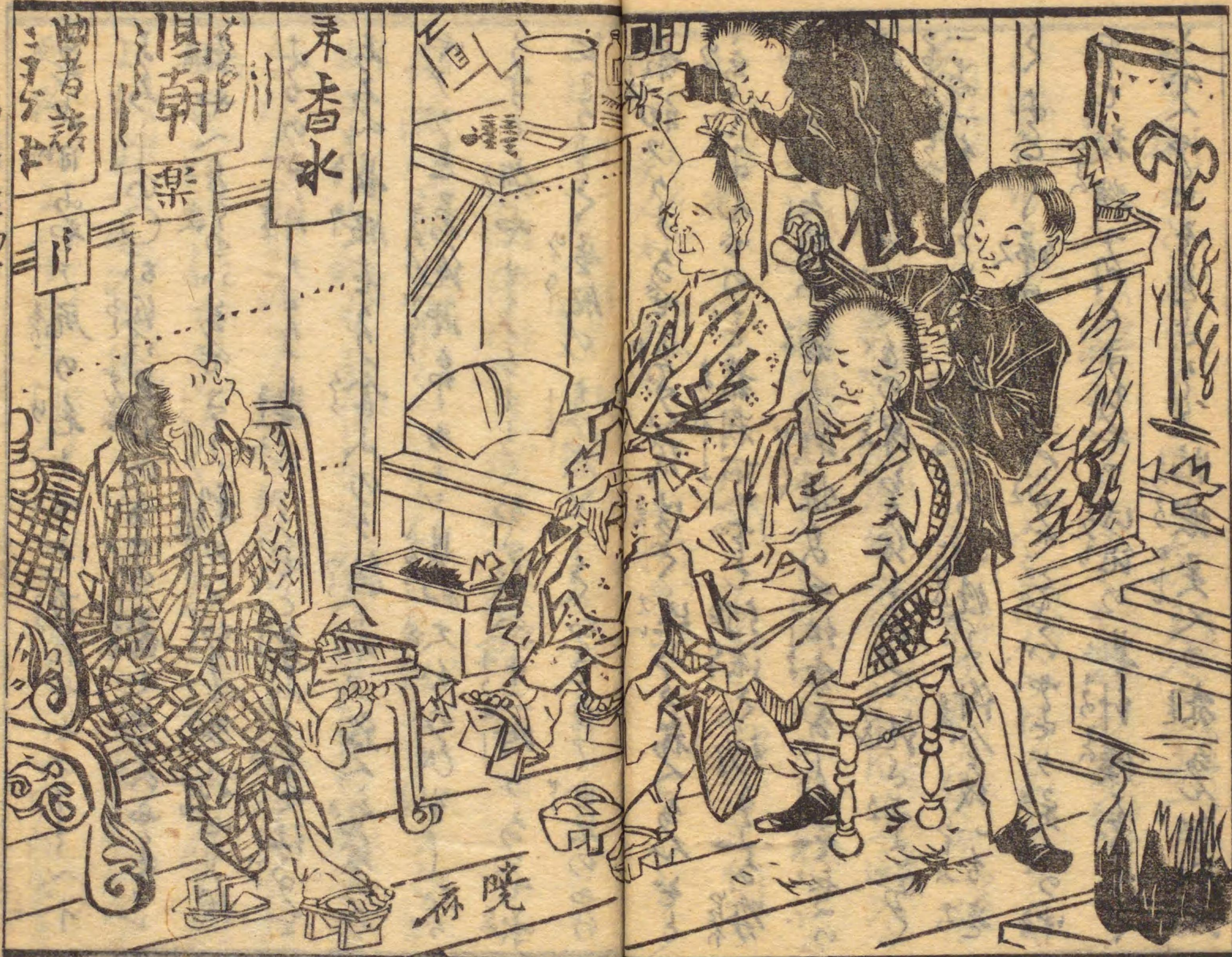
今ふらうの半附のるよ性張がでたるといふ理屋

惟
曉
亦
易



統の利と本職の仲方のうちをまざるうごさのやま
 今この町より山のまうけて物賣の意をも有米の着
 板張おのまう横文字まじりで西洋發校所と
 西大そうよあう張おうくは客さるどおほしやま
 が物もを知ッこのアおざいのやせんはらるも漢ごお
 洲深の具船グゴゴくうらるうは客あまうくうら
 どののやうな疲統の者張ごうりふは具負めうあま
 あらま美人が有うやアの物おごとありや川たグ

ろうて人とめやア毎日お客がくるをうらでははア
 プ張張く夜業まうでいーやまそのかをうくうら
 一やア版所の床と遠のく後合下割ごを統ツとた
 と撥んでまひやせんごうう関羽や張飛のやうな
 張まうせてもまおア大文まうけ合やま中あやア立派
 一名称目のらる床場の祝方が月よと費う同費の
 中庭張まうて上総うう年季よまう白雲ごうけのふ
 坊主のやつと抱孫の割あうひがまんとをうらで
 一



香水

朝樂

曲者談

曉

百羊盤刀下

とんぶ日みわア尻の毛も剃れやせア〜へイ
 よろ〜い○かぬは具好らあ〜の番でござらぬやせコレ
 者やへもたのハあぜさう判刀をわ〜る持やう紙
 まるのござ外をうり虚器つらぶと身ふ〜を仕るを
 ちろ〜長服をうり余人のが結よア後人気成つて
 やア〜は是純粋昂めモシ具好大分のびま〜たが
 うすく新やせううオ〜くあ〜がや十二冊があをそ
 とら〜と量販の支度と〜とあ〜るア世活のやけ

小奴等ござア 番あやハ〜う引

東傳張好む充娼妓の再勤

長瀬川もん久〜く○おまをんへ何付う〜つと
 出あま〜と私もま〜ようが庭つとさう〜帰つと
 またんござま〜ア関〜からんあま〜被付う〜る
 嫩られとさ〜ぐさ〜い〜と海さんと一所よあ〜と
 小宛へ迄の〜場合あ〜も〜いうあ〜く〜高乳山乃
 矢物坂よ〜考の引とあ〜と〜明〜か〜の成〜と

わらつゝあかき髪をよそひて居るをうらぐあはしき舞女
 が目付をうらまひのせに浮き上るのまゝあはれなまを淋し
 ろつゝ居られぬうらまひの幸ひぬ麻生せんがうら
 とらりぢあはれつゝ山登のおまよどんのとらりよせ
 活よあはれつゝわさの成ゆをまきく治つてりつゝ
 わらうらちつて笑さかへんあまー朝森がうらぢ
 つゝおんぢなまうら毎日太陽さるが平助反あは
 方へおらつゝあはる時分であけりやア肥あはれつゝ

まはうらやうやく目ぐさめると店のあけりまは
 ろひ出ゝく化粧紙あやうとくおまぐ付てりつゝ
 けうのまは笑ひ進るんぢなまよそらうらまは
 笑しつゝのうら版を合やうとらほ紙あはるとら
 舞の中ハ空ぞあはれう外の浴衣はゆき忙然
 と書ひまはのうら紙あはるとら紙を大勢の人
 まあけくお紙あはるとら商人がまはとあは
 みあはれまはうらまはうらまはうらまはうらまは

てめんよ治一のやうさまーとさうして飛ぶらう
 浮まんが柳橋の藝者よ恍惚あつて不実よ
 アありませんッ若勞甲斐もあく聽の成さるる
 後りがあへうう門きうさうと云智と飛んぞ針
 うささと不知風俗を使屋ぶん張たのんと日毎を
 せるとヤット又六日ぶりをせと来さうと立後給れ
 よゆりのえんと二升をう下地が出来さわかめん
 さまはくう浮まんのお張らると羽飛あがと付

とお藤づーの八百張云あうへとんでまよまると
 先が張るよあつたわるとさまはくう幸ひみや
 その湯を外と後ッ仕家うその翌日張取の
 態まん張たのんで沙茶町の老母をんのとえかけ
 合々たる二十又友のを切合よ家と添くお
 さうをよあつたのさまはくよねんよ私たちも
 浮気さぬまどれど男をど家の早いのふあ
 まん秋の室とくよく云まよヨ史くう老母ア

と一町よあゆむ一月をくりながさるるがあき

といふ高賣ハあ一金を多くする者智ハ一投

づも減さるる一血強をくりしをもわすれあ

ううは若かりでをもととちやりと気が付てあ

く出ひけが森足よあゆむ一町歩はあゆむ

幾さまはるる人力車よあゆむ先人のつてはあ

さもえんる途とわてあゆむとさるる人のつる所の

伴をんをりざまはるる実正よは若かりとあゆむあ

ハゆりまへんよをさるる彼方け方とあゆむあ

さめあやとあづハ貴川とあゆむとあゆむあ

小遣やうちの會計よあゆむとあゆむあ

おアありまへんよお人鬼や角をるるあゆむあ

ハのさるるばるるははあゆむとあゆむあ

さるるさるるお客ハあゆむとあゆむあ

夜も夜一取かつとあゆむとあゆむあ

さるるあゆむとあゆむとあゆむとあゆむあ



明光



さまはくくまんが実の親ふごも家の毒よあめく
 まく家よ尻が痛つあめよやア何りまへん少親毛
 あんあよ若勞とまるよりる一たん法くさかろご
 さまはくく累二三年秘つご痛く一と若毛
 ろうがましごとおのりて老婆よ相續一たろ
 老婆がる麻堅固くくイエくそのやアあろあ
 去年の十月若糸くくあろあまるとたえま
 人ぐあみりくく並居よあめいのんごくく織よ

猫あて声よあつくあんど年季のあるまごん
 死出葬教一よあるといふのハ腹更死出開眼よ
 あろのて人種死出強一あさるあろ一るで女事
 衣死札幌とりのよとろへ出遣んあさるのよ
 相違へあへくくあれを又百倍も若衆だろ
 あろあかまアあも考くいのご自分くろあ
 色死一と頼川くあやアあろぬといふ
 沙汰ハあめとろ自覚くろあろあろのあよ居

付く賣を紙一とて遣えすを揚代ハその
 目かたりよたき分みとて彦太代や雜用
 ち當分さうあいうさうさうとて呉人
 まれをあ可といふのんごといろくを
 強情と強くせひ堅意よまろくと押切
 大門口出さうさうハお紙合ても事なある
 娼賣とさせくも亡父の位牌や親族を
 射しと強あのと云切と古風氣集るとを
 うりあくと相法よたうあいう新もやけよま
 て毎日さうさうへおびよかけお紙ゆとてか
 このモツイ魔グさうと破戸とあうと
 作よあつと揚くの果グ切とあうと
 そは紙妻ひふ老母を、生理性生紙させとち
 と間グさうさうハお太さんを殺んでけおハ
 今と貫つてお金紙と十支かりと密書の
 の紙紙さうさう老婆よお老ひとさうさう支なと

たり何やわでと十あぐを拂ひさるまのねあうー
 久しく若勞をううーとわこのを陽にる私由セツ
 たり陰気よあひさんごまひあきううみーく
 浮気紙ーく一皮よ情人の名代をどうつめり
 ざせしヨオホーオヤ除り物言々鬼打紙の
 込んごよどうーくうよううう是どんお乗せ一杯
 のまーくおられア、むせのひのヨヲ引

妻若紙あうう夢ま人の其云

「イヤあまハ汗顔さま愚妻のほろ汗まよあを
 と入るまうーあぐう彼をまぶれ妻とい此方の笑
 の何ろのがとるほサ僕と遠くへ儒家よ生まれ
 だけいきうう救世紙辨づるうう可笑サあめは
 ちめるといあーよ迎所の女学生成るあうッ
 う佐橋本町神田の芳英舎人通子ーく英学
 とをどめるとらうガイヤ女生の大根乳ハ堂く
 たり大文士の及ぶとらうよ何うはサ家海汁

縫の不うす帳さへ何ほどを洋籍を致さぬり
 ら未だ之月成経ぬうちモ少地理書紙一冊讀
 脱さうら妙さ子何サく彼を娘のよ何らむ
 忍サくダガ子彼よ不だを別家ガ何らむ
 妙サ子そのとせ多辨あうむ喋一うは先我
 鞆の細君よ六務まりとせんうイヤく何サく
 美と稱するをどの教さよ何らむダガ子どう
 りふと例の蓮杖や東若ガ外國人うらの
 漢文ごとりのと愚妻の容貌を漢うりよく
 寫美よきこのうあめる洋航一と帰朝一
 友人のたまーで因らうおうい尺サ子その寫
 まら倫教や巴勸の寫美宿で火さうふ
 夢らさうサ僕ガ眼うい今の醜婦とるふ
 きらうガ夜眼遠目ど他人ガ見ると美婦と
 過らうら面白い子ダガ彼よ一独事ありサ僕の
 やうな所謂氣動きのあの一交不互の所産

西洋盤四下



性味

娼妓多^年昇^年むのの^と人^とは^はる^る各^各國^國の^公使^使
 たち^が大^大餐^餐を^を催^催入^入して^てる^る妻^妻君^君と^と連^連て^ては^は
 とき^に魯^魯國^國の^公使^使の^妻君^君が^以て^て娼^娼妓^妓と^とな^なる^る
 妓^妓と^とう^うの^ので^で外^外の^妻君^君が^同席^席と^とな^なる^るの^の紙^紙
 娼^娼妓^妓と^とや^や人^人余^余養^養と^と公^公使^使と^とう^うの^の産^産と^とな^なる^る
 れ^とと^との^のよ^よと^とう^うの^の外^外國^國の^新聞^聞紙^紙と^とな^なる^る
 と^と洋^洋婦^婦と^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のさ^さぬ^ぬ出^出と^とら^らは^は初^初
 あり^たの^のみ^みサイ^{サイ}ヤ^ヤ、^とな^なる^ると^と外^外國^國人^人が^妻君^君
 紙^紙を^をま^まの^のよ^よと^と実^実と^とな^なる^るの^のり^りい^い傳^傳サ^サタ^タカ^カ子^子日^日本^本の^の
 凡^凡妻^妻と^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る
 和^和と^と家^家と^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^の
 一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^の
 君^君と^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る
 何^何の^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る
 一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る
 和^和入^入と^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る一^一と^とい^いの^のと^とな^なる^る

